

「持続可能な和牛生産を目指して」

栃木県立栃木農業高等学校

飼料自給率向上の取り組み

令和3年度から、新しい国産飼料「クラフトパルプ」の給与試験を実施している。今年度は、県内農業高校6校で共同プロジェクトを立ち上げ、国産飼料を活用した牛づくりに取り組んでいる。昨年度の課題を改善するためSGSに着目し、クラフトパルプと混合した飼料で給与試験を開始した。試験の検証には、採食量や生育調査だけでなく、糞洗いや血液検査の科学的なモニタリングも用いる。最終的には、試験牛の枝肉成績から飼料の有用性やコストを検証する予定である。

畜産物の理解醸成に関する取り組み

本校産の食材をふんだんに使った学校給食の日を「栃農給食DAY」と称して実施している。今年度は、和牛を使用して本校産食材使用率87%の給食を児童生徒に振舞った。食材を提供するだけでなく、生産過程をHPで紹介し、小中学生の食育に活用いただいた。給食を食べ、牛の出荷動画を見た小学生からお手紙をいただき、食育の重要性を実感する機会となった。